

地域再生計画

1 地域再生計画の名称

第3期尾張旭市まち・ひと・しごと創生推進計画

2 地域再生計画の作成主体の名称

愛知県尾張旭市

3 地域再生計画の区域

愛知県尾張旭市の全域

4 地域再生計画の目標

本市は、名古屋市のベッドタウンとして、1970年の33,336人から1990年には64,741人とバブル期において人口が大きく増加したが、近年は緩やかな増加・維持へと移行している。その一方で、2020年の国勢調査では、人口は83,144人であったが、国立社会保障・人口問題研究所の人口推計によると、2045年には総人口が76,945人となる見込みである。

年齢3区分別の人口動態をみると、年少人口（0～14歳）は2010年の12,409人をピークに減少し、2020年には11,404人となる一方、老年人口（65歳以上）は2010年の16,347人から2020年には21,475人と増加の一途をたどっており、少子高齢化がさらに進むことが想定されている。また、生産年齢人口（15～64歳）も2000年の53,334人をピークに減少傾向にあり、2020年には49,283人となっている。

自然動態をみると、出生数は2001年の893人をピークに減少し、2022年には562人となっている。その一方で、死亡数は2022年には798人と増加傾向であり、出生数から死亡数を差し引いた自然増減は▲236人（自然減）となっている。

社会動態をみると、2008年は転入者（4,033人）が転出者（3,433人）を上回る社会増（614人）であったが、2009年には▲73人の社会減となり、その後は微増微減を繰り返し、2022年は140人の社会増となっている。

今後も人口減少や少子超高齢化が進むことで、地域における担い手不足やそれ

に伴う地域産業の衰退、さらには地域コミュニティの衰退等、住民生活への様々な影響が懸念される。

これらの課題に対応するため、市民の結婚・妊娠・出産・子育ての希望の実現を図り、自然増につなげる。また、移住を促進するとともに、安定した雇用の創出や地域を守り、活性化するまちづくり等を通じて、社会増につなげる。

なお、これらに取り組むに当たっては、次の事項を本計画期間における基本目標として掲げ、目標の達成を図る。

- ・基本目標 1 「暮らしやすさ」に「楽しさ」を加えます
- ・基本目標 2 「自分らしく」を応援します
- ・基本目標 3 「子育てしやすいまち」の魅力を高めます
- ・基本目標 4 「人とのつながり」を大切にします

【数値目標】

5-2の ①に掲げる事業	K P I	現状値 (計画開始時点)	目標値 (2027年度)	達成に寄与する 地方版総合戦略 の基本目標
ア	住んでいる地域の暮らしに満足している市民の割合	87.0%	88.2%	基本目標 1
	日々の暮らしに「楽しさ」を感じている市民の割合	75.6%	79.4%	
イ	自分らしさを大切にしながら、生活できていると思う市民の割合	79.5%	81.7%	基本目標 2
ウ	子育てしやすいまちと思う市民の割合	73.5%	76.1%	基本目標 3
エ	地域社会や人とのつながりがあると思う市民の割合	48.6%	53.2%	基本目標 4

5 地域再生を図るために行う事業

5-1 全体の概要

5-2 のとおり。

5-2 第5章の特別の措置を適用して行う事業

○ まち・ひと・しごと創生寄附活用事業に関連する寄附を行った法人に対する
特例（内閣府）：【A2007】

① 事業の名称

第3期尾張旭市まち・ひと・しごと創生推進事業

ア 「暮らしやすさ」に「楽しさ」を加える事業

イ 「自分らしく」を応援する事業

ウ 「子育てしやすいまち」の魅力を高める事業

エ 「人とのつながり」を大切にする事業

② 事業の内容

ア 「暮らしやすさ」に「楽しさ」を加える事業

「暮らしやすさ」の基盤となる、安全で安心な生活を送ることができる環境づくりを進める。また、便利で落ち着いて暮らすことができる「住みやすいまち」としての特徴を充実・継承する。さらに、「魅力」や「活気」、「健康」といった人生を彩る「楽しさ」を加えることで、「暮らしの質」を高め、市内在住者には「暮らしやすい、暮らし続けたい」、市外の方には「尾張旭市で暮らしたい」と思ってもらえるまちづくりを進める。

【具体的な事業】

- ・安全で安心な生活を送ることができる環境づくり事業
- ・住みやすいまちとしての特徴の充実・継承事業
- ・暮らしの質の向上事業
- ・楽しさを感じるまちづくり事業 等

イ 「自分らしく」を応援する事業

多様性を認め合い、一人ひとりの持つ個性や能力を発揮できる社会の形成を図る。また、本市に住みながら、誰もが「自分らしく」いられる暮らし方や働き方に自らチャレンジしたいと思える雰囲気をつくる。さらに、

その活動を互いに応援することで、それぞれが「夢」を抱き、「幸せ」を感じられるまちづくりを進める。

【具体的な事業】

- ・多様性を認め合う社会の形成事業
- ・一人ひとりの個性や能力を発揮できる社会の形成事業
- ・自分らしくいられる暮らし方・働き方の応援事業 等

ウ 「子育てしやすいまち」の魅力を高める事業

本市で安心してこどもを産み、働きながら子育てできる環境を整備する等、少子化対策に取り組む。また、子育てを応援するとともに、こどもの可能性を拓ける教育や体験等の機会を拡充する。さらに、こうした取組を市内外に広く浸透させていくことで、「子育てしやすいまち」としての魅力を感じられるまちづくりを進める。

【具体的な事業】

- ・安心してこどもを産める環境づくり事業
- ・働きながら子育てできる環境づくり事業
- ・子育てしやすい環境づくり事業
- ・こどもの可能性を拓ける機会づくり事業 等

エ 「人とのつながり」を大切にする事業

人々が関わり合う機会を増やしていくことで、まちに対する愛着や誇りを育む。また、「大切な人とのきずな」や「市民・事業者と地域との関わり」等「人とのつながり」を大切にし、さらに、「新たな出会いから生まれる可能性」を創り出すことで、今後も住み続けたい、将来戻って来たいと思ってもらえる魅力的なまちづくりを進める。

【具体的な事業】

- ・まちに対する愛着や誇りの形成事業
- ・大切な人とのきずなの強化事業
- ・市民・事業者と地域との関わりの強化事業 等

※ なお、詳細は尾張旭市第六次総合計画「第4章施策別計画 1 重点パッケージ」のとおり。

③ 事業の実施状況に関する客観的な指標（重要業績評価指標（KPI））

4の【数値目標】に同じ。

④ 寄附の金額の目安

4,800,000 千円（2025 年度～2027 年度累計）

⑤ 事業の評価の方法（PDCAサイクル）

毎年度 10 月頃に外部有識者による効果検証を行い、翌年度以降の取組方針を決定する。検証後速やかに本市公式ホームページ上で公表する。

⑥ 事業実施期間

2025 年 4 月 1 日から 2028 年 3 月 31 日まで

6 計画期間

2025 年 4 月 1 日から 2028 年 3 月 31 日まで